



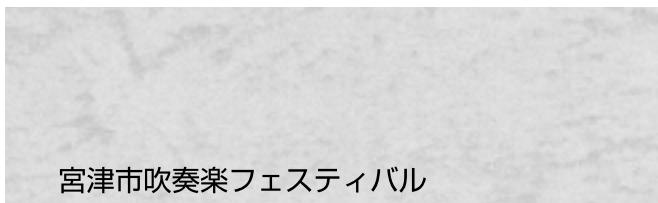
# 議会だより

平成24年  
11月5日発行

## No.68

●発行／宮津市議会  
●編集／議会情報化等特別委員会  
TEL 0772-45-1639  
<http://www.city.miyazu.kyoto.jp/~gikai/>

|        |   |          |   |                 |   |           |   |             |   |
|--------|---|----------|---|-----------------|---|-----------|---|-------------|---|
| ● 一般質問 | 6 | ● 意見書・請願 | 5 | ● 補正予算・条例制定等Q&A | 2 | ● 監査委員の選出 | 2 | ● 9月定例会のつどい | 2 |
|--------|---|----------|---|-----------------|---|-----------|---|-------------|---|



宮津市吹奏楽フェスティバル



表紙写真を募集します！

<わしくは裏表紙をご覧ください。

# 9月定例会のうじき

9月定例会は8月30日から9月27日までの29日間にわたり開催されました。

内容は、人事案件（監査委員選任等）2件、

条例1件、決算認定（平成23年度水道事業会計）1件、補正予算（一般会計8186万円、特別会計3件▲1397万円）計4件でした。いずれも原案どおり可決・認定されました。「請願」は不採択、「意見書」は可決となりました。

一般質問は6、7日の2日間12人の議員が行いました。

追加提案の人事案件2件（教育委員の選任など）は、いずれも即時採決の結果、同意。決算認定（一般会計、特別会計）16件について、27日最終日に質疑を行いました。今定例会の傍聴者は49人でした。



議会選出の監査委員  
(平成24年9月1日付)

安達 稔

## 平成24年9月補正予算、条例制定等審査Q&A

9月11日及び18日、各常任委員会で平成24年度補正予算及び条例改正等の審査を行いました。その概要は次のとおりです。

意見：委員会が市に出了した意見

経過意見：審査の過程で委員から出た意見

### 補正予算

### 一般会計

#### 総務文教委員会

北近畿タンゴ鉄道再生支援に2500万円

極めて厳しいLT-Rの維持存続を図るため、早急な対応が必要な集客増客、設備整備（レール交換・冷房装置等）に支援するもの。

Q 赤字補てんではないとのことだが、設備状況など悪い個所があれば今後も続けるのか？

A 来年度以降も国庫補助が取れるものは取り組みたい。それ以外のものも老朽化しているため、投資が必要なもののはやつてこべりこの姿勢で望むこととしている。

#### 新産業起糾の推進に300万円

竹の高付加価値化として「竹表皮」を活用した新たな商品開発（手足口病用感染予防抗ウイルス剤）を行おうとする民間事業者を支援し、本市における事業化、雇用の拡大に繋げようとするもの。

Q 竹の表皮を有価で渡すことなどが、設備状況など悪い個所があれば今後も続けるのうするのか？

A 平成26年までには2万本の活用を計画。表皮以外はチップ化し、バイオマス燃料などにして販売していきたい。

#### 宮津マルシェの推進に200万円

宮津マルシェの具現化を図るため、平成26年度までに道の駅的な機能を持たせた浜町ゾーンの整備を目指すもの。

Q 市民や周辺業者、観光関係者の意見を十分聽取し、計画を立てるべきでは？

A 現在、その部分も重視して

A 今後、毎年やる事業なのか？ い。促進制度は毎年実施したい。ただし、シルバーパスの交付は一人につき1回（一生につき1回）となる。

い。市民起點のまちびくつとして、利害関係者や住民、行政で構成する会議体において、意見を出し合い、貴重なアイデアをいただき具現化を進めていきたい。

#### 経過意見

周辺事業者及び周辺住民との情報交換を密にすべきである。また、アクションプログラムに基づいて事業提案がなされるよう早急にアクションプログラムを策定し、議会に提示されたい。

#### 不燃物処理場の管理運営に300万円

東部不燃物処理場の第1工区

の容量が年度内に一杯に近づく見込みとなつたため、施設の管理面、衛生面、美観面等から、第1工区の埋め立て完了部分の最終整形と覆土を施すもの。

#### 小学校の施設整備とスクールバスの運行に4500万円

平成25年4月1日～予定の栗田小と由良小の再編に伴い、由良地区の子どもを受け入れるため、給食調理室の改修、特別教室の増設及び登下校に利用するスクールバスを購入するもの。

**Q**

栗田小の現状は、図工室がないまま教育活動をされていながら、統合を機会に作るのか？

また、校舎の構造を鉄筋でなく木造にした理由は？

**A** 以前、図工室はあったが、現在は特別支援学級に使用している。通常の図工授業は普通教室で行っているが、木工等道具を使う場合は支障があり、子ども達に適切な教育環境を整える必要性から、今回

**Q**

の再編を機に設置することとした。また、木造の校舎は、1教室増築で平屋である」と木の温もりのある柔らかい風格のある教室で創作活動をさせたいことから木造とした。

**A** バス購入は、座席が37席で、現在の児童数が32人。今後の児童の見通しは？ 今後も少しずつ減少傾向に

**Q**

住民参加型福祉サービス支援に300万円 あり、全員正規座席に乗つていただける。

**A** 住民相互の助け合いによる困りごと支援を提供するもの。利用者は、高齢者、障害者等を予定していることだが、具体的な年齢や障害の程度はどのように定めるのか、

また、シルバー人材センターが同様の事業を行っているが、競合するひとにはならないのか？

関係機関による検討会が8月に立ち上がり、そこで、具体的な対象者の年齢、障害の程度等を協議していくことになっている。その検討会には、シルバー人材センターも構成員になっている。

**Q**

介護保険健康維持奨励に18万円 他市と比較して多いのか？

**A** 対象者178人といふのは、他の市と同程度である。

**Q**

元気高齢者の励みにもなり、地域経済の活性化にもつながるので、継続事業となるように努められたい。

# 9月補正予算 補正総額 6,789万円

## 主な内容

### 一般会計

#### ◆観光を基軸とした産業振興

竹資源活用型産業の創出に  
宮津マルシェの具体化に向けた準備等に  
営農活動を継続するための生産基盤整備（田原地区）に

#### ◆環境保全と生活環境の向上

街なみ環境の整備に

#### ◆教育の充実と人材育成

丹後建国1300年記念事業の負担金に  
栗田小学校の特別教室・給食調理室に係る改修等工事に  
通学送迎用スクールバスの新規購入に  
耐震化の推進に向けた新たな工法の検討（吉津小学校）に

#### ◆健康増進と福祉の推進

住民相互の助け合いの仕組みづくりに  
児童虐待防止に係る広報・啓発活動に  
民間保育園が行う施設改修等に  
ポリオ不活化ワクチン導入に係る委託等に

#### ◆暮らしの基盤の整備

KTR再生に向けた集客増客・設備整備支援に  
KTR利用促進支援に  
通学路の安全確保に向けた危険箇所対策の実施に  
木造住宅耐震改修助成制度による耐震化・リフォーム工事に

#### ◆市民との協働

コミュニティ活動への支援に（530万円）※宮本・吉津・上宮津自治会  
市民協働プログラムに係る調査・検討に（50万円） 580万円

**経過意見**  
障害者虐待の防止のため、窓の強化に努められたい。

**A Q**

過去にあつた虐待事例は？  
高齢者等含め平成21年度に10件、平成22年度に3件の事例があつた。

### 障害者虐待防止対策に

10万円

利用者の具体的な絞り込み及び社会福祉協議会が行う活動とシルバー人材センターが行う活動との役割分担、利用料の設定などを検討会で十分に議論し、民間活力の部分も配慮しながら、高齢化社会において機能する持続可能な事業となるよう努められたい。

**経過意見**

### 児童虐待対策に

267万円

児童虐待の未然防止、早期発見・早期対応を図るための広報・啓発活動及び子育て講演会の実施など児童虐待防止に向けた取り組みを行うもの並びに赤ちゃん訪問事業・家庭支援員の訪問事業を強化するために必要な訪問用身長計等を購入するもの。

**保育環境充実に**  
1380万円  
京都府子育て支援特別対策事業費補助金の補助内示に伴い、平成20年度に民営化した吉津保育園のトイし、及び今年度から民営化した府中保育園の屋根・外壁の改修にかかる経費を実施するもの。



## 経過意見

給水人口の減少、老朽化の著しい水道施設の更新等、経営を取り巻く環境は非常に厳しい状況であるが、今後も、管理の合理化、経費節減、滞納対策の実施等、より一層の経営努力（企業努力）を堅持し、健全な事業運営に努められたい。



## 条例制定等

### 総務文教委員会

#### 宮津市暴力団排除条例の制定

市の公共事業の請負契約や許認可等の事務事業から、暴力団による不当な影響を排除し、市民の安全で安心な生活を確保するためには、このため、制定するもの。

Q 誓約書徴取を150万円以上

上の契約に定めた根拠は？

A 府下で先行して条例制定している市町村もそうだが、府条例に準じて一律で規定している。この点は、警察署とも事前調整を行つてある。

## 地方財政の充実・強化を求める意見書

議決結果 可決 議決状況 全員賛成

社会保障においては、子育て、医療、介護など、多くのサービスを提供する地方自治体の役割が高まつてあり、安心できる社会保障制度を確立するためにも、安定した財源の確保が重要です。また、全国の経済状況は依然として停滞しており、地域の雇用確保、社会保障の充実など、地域のセーフティネットとしての地方自治体が果たす役割はますます重要なっています。

特に、地域経済と雇用対策の活性化が求められる中で、介護・福祉施策の充実、農林水産の振興、クリーンエネルギーの開発など、雇用確保と結び付け、これらの政策分野の充実・強化が求められています。

このため、2013年度の地方財政予算全体の安定確保に向けて、政府に次のとおり対策を求めることがあります。

### 記

一 被災自治体に対する復興費については、国の責任において確保し、自治体の財政が悪化しないよう各種施策を十分に講ずること。また、復旧・復興に要する地方負担分は、通常の予算とは別に計上すること。

二 医療・介護、子育て支援分野の人材確保など、少子・高齢化に対応した一般行政経費の充実、農林水産業の再興、環境対策など、今後増大する財政需要を的確に取り入れ、2013年度地方財政計画を策定すること。

## 請願

子どもたちにゆきとどいた教育をすすめるための教育予算増額、教育諸条件の整備・充実を求める請願

請願者 与謝地方教職員組合 竹内憲昭

趣旨 施設整備の安心安全・バリアフリー・耐震・環境衛生などの視点から、宮津市内の学校全体の施設を点検し、老朽化した校舎整備を年次計画で進めてほしい。また、自然エネルギーを積極的に利用し、環境を考えた設備を整えてほしい。

### 請願に反対の意見

子どもたちの安心安全を確保しながら教育環境を整備したいという点では全くそのとおりだが、宮津市全体での予算配分、教育委員会の中での予算配分等を加味する必要があり、その予算枠の中で教育委員会なりに着実に整備を行つてある。また、校舎の整備は大切で、たくさん改善すべきところはあると思うが、限られた予算の中で努力している。

### 請願に賛成の意見

命第一主義の観点から整備は必要であり、施設状況等の点検を行い、年次計画で整備を進め、子どもたちのより良い環境と命をしっかりと守つてほしい。

議決の結果 不採択

# 一般質問

## 市政に対する質問・提言 ここが聞きたい !!

9月定例会では、12人の議員が一般質問を行いました。各議員の質問と理事者の答弁の概要は次のとおりです。

### 火災原因事例の 防火啓発広報を行われたい

安寿会 松原 護

#### 答弁要旨 火災予防のパトロール等により広報を行う

**質問** 火災原因となるトラックイング現象（コンセントの元まで入れていらないプラグ・タコ足配線・容量に合わない延長コード・エアコンからの水滴がコンセントに直下する場合）等々こういった事例があることを市民に広報により周知徹底し、注意喚起を行われたい。

**答弁** 消火栓の不足している地域があれば調査し緊急度の高い地域順に設置を検討されたい。また、防火水槽の水が不足している箇所については、原因調査をし水の確保。湧水方式の防火水槽については、地下水の位置が低ければかなり掘り下げなければならない。また、泥上げ等簡単な作業についての自治会委託はやむを得ないが、ガス発生等危険が伴うものは業者に委託されることを検討されたい。

**質問** この近年、全国的に悪質な振り込め詐欺事件や消費者トラブルが相次いでいる。学校児童がトラブルに巻き込まれないためにも、若い世代から知識を身に付けていくことが大切である。情報があふれる現代社会にあって、消費者教育として、自立して消費者の教育を目指す上で、契約とか商品や添加物は何かということを学ぶ

### 子ども達が賢明で 自立するための消費者教育は 重要性増すものと認識、一層の取組を考える

公明党 松本 隆

#### 答弁要旨

**質問** この近年、全国的に悪質な振り込め詐欺事件や消費者トラブルが相次いでいる。学校児童がトラブルに巻き込まれないためにも、若い世代から知識を身に付けていくことが大切である。情報があふれる現代社会にあって、消費者教育として、自立して消費者の教育を目指す上で、契約とか商品や添加物は何かということを学ぶ

**答弁** 児童生徒への消費生活に係る教育としては、学習指導要領の中でも規定されており、義務教育

#### 答弁

広報については、市と消防団、自治連合会の連名で、5月・8月の2度に亘り住民一人ひとりの防火意識徹底の呼びかける文書を自治会回覧している。今後も消防団を中心に、秋の火災予防週間や年末警戒等の中で、パトロールを通じ、啓発活動を強めていきたい。また、電気関係の留意事項についても一定の整理をした上で今後の呼びかけに生かしていく

り貯水量そのものが不足してあり、早期に応急対応するどじもに對応方策を検討していきたい。



小学校消費者教育学習教材

・ 与謝野町火葬場での町外利用者の取り扱い変更について  
**その他の質問**



消防団活動

# 宮津市公設市場を今後どうするのか

日本共産党 長林三代

答弁要旨 宮津マルシェ整備で市場の意見も聞いていく

質問 宮津市公設市場は戦前から大変繁盛し、新浜に移転してからも多種多様の商品が陳列され賑わっていた。しかし、加盟店も徐々に撤退し、現在では、鮮魚店8軒とかしわ店1件があるのみで客はほとんどないといふ。一店が入店するというだが、市として公設市場の位置づけを伺う。

また、浜町の宮津マルシェ「道の駅」報道は、多くの関係者に疑問と不安を与えた。今後、公設市場をどうすればいいと考えているか。市民との十分な話し合いはまちづくりの基本ではないのか。

答弁 公設市場は、市民の消費生活の安定に資するのを目的に、昭和49年に市が整備したものだが、人口減少やスーパーの進出など、時代の変化の中で客が減少してきたもの。施設は老朽化が著しく、今後の維持管理、施設そのものの在り方を検討していく。また、宮津マルシェ構想の中の水産物等販売施設についても、市場内の皆さん 의견を伺う。現時点では、市として市場のPR等、側面的な支援をしていく。



宮津市公設市場

# 朝市とマルシェ構想

宮津新生会 谷口喜弘

答弁要旨 一定の方針が出たら対応を検討する

質問 農産物直売所や公設市場を含めた二者のバランスと連携を考えないと全滅すると危惧するが、朝市組合解散を手始めに、卸売センターの撤退問題、次は公設市場と実に現実身を帯びてある状況の中、食品卸売センターと朝市の状況、卸売センターの今後の方針、両者間の公的収支の処理、今後の

対応、大きな施設を宮津市の産業に今後どんな形で役立っていくのか、両者とも今後の再建計画並びに利用計画を

ともに、今後、一定の方針が出たら、市の対応を検討する。

質問 現在、施設を含めた清算のあり方を旧組合内部で協議されている最中。今後、一定の方針が出たら、市の対応を検討する。

## 東部不燃物処理場について

質問 平成23年度は除雪作業がうまくいかず、あらゆる道が通行不能に近い状態となつた。今後、除雪方法をどう改め、市民生活を守るのか。

答弁 建設業者・オペレーターの減少など現状維持に限界があり、除雪路線の減少見直しの時期が来るのでないかと懸念する。市民の自主的な除雪体制づくりが重要と考える。



宮津ふれあい朝市

## 大学連携機構との取組みの考え方

無会派 坂根栄六

**答弁要旨**  
先ずは機構の活動と一緒に取り組む

**質問** 2年前、この地域の課題は、「人財の流出」であり、「大学の学年移転」ということを提案した。今年度、一般社団法人京都府北部地域・大学連携機構が設立された。この大学連携機構は、8つの京都府内の大学と4つのNPO、一般財団法人地域公共人材開発機構並びに京都府と5市2町の自治体で構成されている。まだ始まつたばかりではあるが、北部に目を向けた取組みであり、文部科学省の概算要求37億円の事業を活用する。この地域の課題である「人財育成」という点において、いま絶好のチャンスが来たと思う。大学連携機構どのように取組むか市の考え方を問う。



## 一般社団法人京都府北部地域・大学連携機構の設立シンポジウム

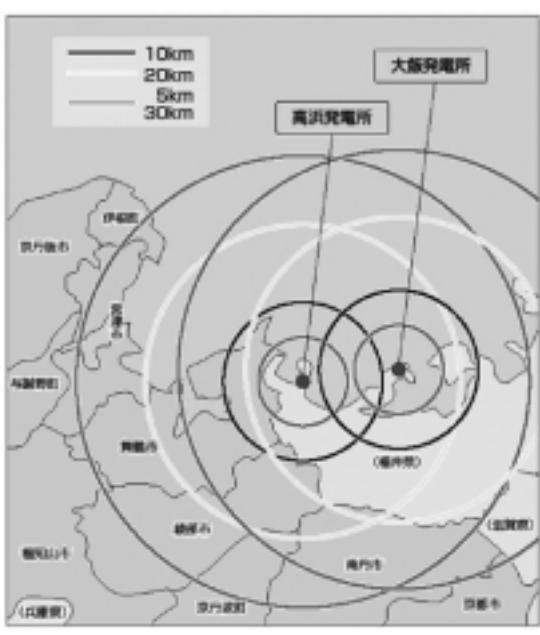
答弁要旨  
住民の意見を踏まえ、計画を定めよう

**質問** 防災計画の見直しに伴い、U.P.Z（緊急時防護措置を準用する区域）30km圏内にほぼ全域が入る本市において、来年3月末までに「防災計画に「原子力発電所防災計画」を加え、住民避難計画を策定しなければならなくなつた中で、次の3点を伺う。

で、地域ごとに住民説明会を行い、そのときの意見等を踏まえ、最終的な定めを行う。関西電力との安全協定の締結にかかる考え方は、昨年6月に京都府知事と府内の全市町村長の連名で、「立地自治体に準じるような協定締結について要望した。今後においても本市単独ということではなく、京都府と関係市町が連携して対応していく。

蒼風会 小林宣明  
計画を定めり

市のように立地自治体なみの要望は考慮しないのか。  
**答弁** 近く公表予定の国の指針を参考にしながら、京都府関係市町が連携して調整していくこととしている。この一定の計画素案がまとまり次第、本市防災会議で確認した上



## 高浜発電所と大飯発電所からの距離

## 原子力発電所防災対策について

蒼風会  
小林宣明

**質問** 防災計画の見直しに伴い、U.P.Z（緊急時防護措置を準用する区域）30km圏内にほぼ全域が入る本市において、来年3月までに、「防災計画」「原子力発電所防災計画」を加え、住民避難計画を策定しなければならなくなつた中で、次の3点を伺う。

で、地域ぐるに住民説明会を行ひ、そのためのときの意見等を踏まえ、最終的な定めを行ひ。関西電力との安全協定の締結にかかる考え方は、昨年6月に京都府知事と府内の全市町村長の連名で、「立地自治体に準じぬような協定締結につれて要望した。今後においても本市単独といつてはなく、京都府と関係市町が連携して対応していく。

# いじめ対策について



いじめ問題を受ける「ここらのまど」

答弁要旨 実態調査を実施し、臨時校園長会議で指導した

市民連合クラブ 河原末彦

質問 当市では、いじめが無いとの報告を受けたところが、「いじめはどの学校でも、どの子にも起つてゐる問題」である。また、「いじめが長く続ければ続くほど深刻になる」とから、日頃からいじめを許さない学校づくりと、いじめ問題が生じたときには、その問題を隠さず適切に対処できる仕組みをどう作り上げるのか。また、被害者が学校に訴えても、解決に動いてくれなかつたら児童生徒保護者などにく相談に行けばよいのか。

答弁 本市でも、いじめ問題は、喫緊の課題として、幼稚園、小中学校に対する調査として、いじめの実態調査を実施するとしている。臨時の校園長会を開催し、「いじめ」はどの学校でも、どの子にも起つて得る問題として共有し、「あらゆる問題行動において、教師は見て見ぬふりをしないこと。校内における行為者不明の事象等を放置しないこと等を徹底し、未然防止の徹底を図るよう指導した。また、保護者や児童生徒に対し、いじめの相談窓口として教育支援センターの「いじめの相談」があることを周知した。

## 土砂災害特別警戒区域解消に向けて

質問 実質的に木造家屋の新築や増築が困難となつた指定区域における「災害防止施設の計画的整備」について、京都府に対し、どのように働きかけていくのか。

答弁 避難施設・災害弱者施設や緊急性が高い箇所を優先し、砂防事業、急傾斜地崩壊対策事業等による防災工事を要望している。

## 他の質問

- ・「NPOのポイ捨て禁止の啓発活動の推進について

答弁要旨 十分とは言えないが目的に沿つてこなと認識

安寿会 安達 稔

質問 ①当初の目的と異なつている。過去一回質問したが、その都度NPO法人たんぐ村と協議を重ね指導して行きたいと言う答弁であったが、どのよしな指導をしたのか。

②雇用に關係した新聞報道で労働基準監督署が調査に入る記事について市長はどういうに感じたのか。

③市民から投書が舞い込んできたが、その内容はNPO法人たんぐ村の問題点ばかりであり家主である御津市はいのままでよいのか。

答弁 十分とは言えないが、概ね「高齢者のふれあいの場、生きがい・健康づくり」という目的に沿つて使用されていると認識。そうした中で、①高齢者の生きがいづくりや健康づくりの拠点としてカルチャーカー教室の利用を増やすことや高齢者向けの内容に充実あることなど利用拡大に向けて指導をしている。

②私も大変迷惑しており、今後の調査結果を見極めていきたい。

③事業運営上や貸付先としての適格性に関する疑問点については、その都度NPOの法人たんぐ村に対し回答を求め確認している。

質問 現在、家賃が（月額）3万2000円、一平方メートル90円は考えられない金額であり以前値上げも検討する」と聞いていたがどうなつたか。又、当地元住民との交流を通じ、地元の理解を得るしながら現在地元との接点は全然受けられないがどのような指導をしたのか。

答弁 地元住民との交流についての指導はしていない。

# 地元住民ふれあい交流施設事業について



みやづ屋

# 再生可能エネルギー促進と

## 景気刺激策を

公明党 松浦 登美義

答弁要旨 市補助制度の平成25年度スタートに向け検討



国際クルーズ船

# いじめ問題は

## 大人社会が衿をただしてこそ

日本共産党 宇都宮 和子

答弁要旨 基本的人権を尊重する取り組みを行っている



子どもたちの環境は…

質問 子どもが生まれるとすぐから発達段階を考えない早期教育の勧誘が始まる。そして、習い事、塾、クラブ活動と学校が終わっても休む暇もない。また、子どもを取り巻く文化環境も劣悪であり、ここにインターネットを使つた問題が複雑に絡んでくる。子どもが育ち合う集団も無く、相手を思いやる心が育つはずがない。これは大人社会の反映だ。いじめ問題の宮津の現状と教育長の見解を伺う。

答弁 教育現場の最重要課題としていじめ問題の未然防止に取り組んできる。学級では良好な人間関係の構築に努め、基本的人権を尊重する取り組みを行つた。教員については指導力育成に努めた。現状ではいじめはないと受け止めているものの、生徒間の暴力や悪質な「いたずら」の事象はあり、本年7月時点で24件の事案が発生している。教育支援センターを相談窓口として有資格者の相談員が受け付ける。学校家庭、地域の絆を強めしっかりと対応する。

## 大飯原発再稼動・市長の見解は

質問 今年の猛暑でも電力は足り、原発なしでも電力不足は起きた。

将来原発は不要と84%の国民が表明している。大飯原発再稼動について市長の見解は。

答弁 ふるさとを守る上で非常に残念。再稼働期間は限定的に取り扱うべき。市としては再生可能エネルギーの取り組みを進める。

【その他の質問】

- ・200円バス

## 環日本海時代の戦略について

質問 京都舞鶴—浦項（韓国）実船トライアルが実施され私も参加した。国際フェリーの定期航路開設に向けた共同宣言も行われ、府北部においても観光振興につながると期待されている。

答弁 住宅用太陽光発電設備の設置に対し、より効果的な市の補助制度を平成25年度よりスタートさせるべく検討している。公共施設については、保育所、幼稚園、公園、地区公民館、学校、市役所などに、太陽光発電設備やペルソントーストーブを設置してきており、可能な施設への導入に努めたい。メガソーラー事業者への屋根貸など、地域経済の刺激策も検討する。

また、災害に強い国づくりにおいても日本海側が重要になっているが伺う。

答弁 京都舞鶴港が日本海側の玄関口となつて、京都、阪神などを巡る国際観光コースとして伸びゆることが大切。その国際観光コースの中に宮津天橋立が位置づけられるよう懸命に取り組んでいく。この大きなチャンスを、時には夢をもつて、物流・人流の拡大へ、様々な戦略を練つていきたい。

質問 この質問は、何度も行いやつといい答弁も頂いている。今年、3月議会での答弁は、まずは太陽光発電の普及を促進すべきと考え、国の補助制度と連動する形で市の補助制度を検討。しかし、設置費等の補助金もまだない。また、公共施設等への設置も見えない。景気低迷による地域経済の刺激策においても早急な制度施行が望まれるがどうか。

答弁 住宅用太陽光発電設備の設置に対し、より効果的な市の補助制度を平成25年度よりスタートさせるべく検討している。公共施設については、保育所、幼稚園、公園、地区公民館、学校、市役所などに、太陽光発電設備やペルソントーストーブを設置してきており、可能な施設への導入に努めたい。メガソーラー事業者への屋根貸など、地域経済の刺激策も検討する。

質問 子どもが生まれるとすぐから発達段階を考えない早期教育の勧誘が始まることで、習い事、塾、クラブ活動と学校が終わっても休む暇もない。また、子どもを取り巻く文化環境も劣悪であり、ここにインターネットを使つた問題が複雑に絡んでくる。子どもが育ち合う集団も無く、相手を思いやる心が育つはずがない。これは大人社会の反映だ。いじめ問題の宮津の現状と教育長の見解を伺う。

答弁 教育現場の最重要課題としていじめ問題の未然防止に取り組んできた。学級では良好な人間関係の構築に努め、基本的人権を尊重する取り組みを行つた。教員については指導力育成に努めた。現状ではいじめはないと受け止めているものの、生徒間の暴力や悪質な「いたずら」の事象はあり、本年7月時点で24件の事案が発生している。教育支援センターを相談窓口として有資格者の相談員が受け付ける。学校家庭、地域の絆を強めしっかりと対応する。



子どもたちの環境は…

## 大飯原発再稼動・市長の見解は

質問 今年の猛暑でも電力は足り、原発なしでも電力不足は起きた。

将来原発は不要と84%の国民が表明している。大飯原発再稼動について市長の見解は。

答弁 ふるさとを守る上で非常に残念。再稼働期間は限定的に取り扱うべき。市としては再生可能エネルギーの取り組みを進める。

【その他の質問】

- ・200円バス

# 教育現場における「いじめ」の現状と対策は

富津新生会 德本良孝

答弁要旨 直ちに校園長に対し実態調査を実施した

質問 大津市立中学校で「いじめ」被害者が自殺した。幸いにも富津市の教育現場では「いじめ」被害者が自殺を図るといつも最悪の事案は無いが富津市立中学校における「いじめ」の現状と対策について尋ねる。

インターネットでは「加害少年や教育関係者」の実名や顔写真等が流れ、不確かな情報による恣意的な書き込みが多くある。テレビでは教育委員会は果たすべき役割を放棄し、結果として機能していないとして教育委員会無用論を展開しているが教育委員会の果たすべき本来の役割と責務について尋ねる。教育現場の関係者任せではなく「子供を育む」地域社会全体の問題とするが考へを尋ねる。



元気に遊ぶ子どもたち

# 今田モデルの教育行政について伺つ

市民連合クラブ 木内利明

答弁要旨 富津市なりばの教育に全力を傾注した

質問 平成7年に就任され、今日まで当市の教育委員会教育長を務める私が、近畿都市教育長協議会副会長など要職を歴任され、18年間に亘り教育行政を担つてこられた横山教育長がこの9月で任期満了になると伺つたので、後また続投されるかはわかりませんが、この間の職務を振り返り、教育行政でこれだけは記録に残しておきたいと言う思い、また当市の「教育理念」に誇りと感慨を覚えていたが、その思いについて伺いたい。

答弁 太陽が輝く富津のまちに、人々

の心の豊かさを求めて、心を大切にする教育を進めてきた。天橋立の松の姿や、与謝の海の水の心に、富津も人々の姿や心を重ねて、故郷を誇りに思ふ。将来にわたつて、このまちを守り、創造していくことと思ひながらも、たちの育成に貢献できれば、学校や保護者、地域社会のみなさんと共に心を紡ぐ努力をしてきた。

そのため、人々のこの富津への帰属意識を高め、みんなが心一つになり、「元気の共有」ができるため、「市民憲章」や「富津市歌」を日常生活化したとthoughtでした。

質問 大津市で自殺をした中学生だが、その背景に「いじめ」があつたのではとの報道を受けて、国や府教育委員会の調査に先んじて校園長に対し「いじめ」の実態調査を実施した。内容は今回の事案に関して教職員や児童生徒に指導した内容の報告と児童生徒の人間関係上の具体的な課題等について調査した。大津市では学校や教育委員会の事実確認や事情聴取の在り方に批判が



特色ある学校づくりの取り組み

集中している。本市に「いじめ」となる事象は無かつたが、児童生徒間に日頃の人間関係について気になる報告が多くあつた。「いじめ」問題への対応は当事者と教育関係者や家庭そして地域の皆様と一緒に取り組まなければならぬと考える。

少子高齢化が進む現実はあつても、だれもがこの富津がもつてゐる類稀な大きな要素を理解し、語り伝え、「生き力」の糧になればと願つてゐた。

## 表紙写真を募集します！

宮津市議会では、議会だよりを年4回（5月、8月、11月、2月）発行しています。本紙の表紙に掲載する写真を募集します。

- 募集内容 地域の取り組みや行事など、地域の魅力を紹介できる写真
- 応募規定 応募者が撮影し、被写体の承諾を得たもの。
- 規格など 現像写真またはデジタルデータ
- 紙面への掲載 写真は白黒で、タイトルと応募者の氏名を掲載します。
- 応募方法 ①タイトル②住所③氏名④電話番号を明記の上、議会事務局までご応募ください。
- 選考 議会情報化等特別委員会で行います。
- 注意事項 応募写真は原則返却しません。
- 応募・問合せ先 〒626-8501(住所記入不要)  
宮津市議会事務局  
☎ 0772-45-1639(直通)  
e-mail : gikai@city.miyazu.kyoto.jp

# 12月定例会の予定

(会期12月3日～12月25日)

- 11月28日 請願・陳情等締切（正午まで）
  - 29日 議会運営委員会
  - 12月3日 本会議（決算採決、提案理由説明等）
  - 10日 本会議（一般質問）
  - 11日 本会議（一般質問）
  - 12日 本会議（質疑～委員会付託）
  - 13日 常任委員会
  - 14日 常任委員会（予備日）
  - 20日 議会運営委員会
  - 25日 本会議（委員長報告～採決）
- ※開議時刻 10:00
- ・この日程は予定であり、変更となる場合があります。
  - ・一般質問の質問者及び質問事項等については、一般質問日の約1週間前に市議会ホームページで確認することができます。また、新聞折込でもお知らせします。
  - ・録画映像や本会議の会議録についても、インターネットで閲覧できます。ぜひご覧ください。

宮津市議会

検索

クリック

## あとがき

今議会だよりから、新しい議会情報化等特別委員により発行することになりました。「議会だより」は議会の活動や審議の状況を広く市民の皆様にお知らせし、議会への関心を持っていただくよう、市民と議会とをつなぐ役割を担っています。市民の皆様に親しまれ、読んでいただける議会だよりへと常に心がけていきたいと考えていますので、率直な御意見をお寄せいただきますようよろしくお願ひします。

さて、今夏の節電の取組みは、「原発稼働がない場合の平成22年度比15%以上の節電目標」で進められ、猛暑日が続く中にあっても、エアコンの使用を極力抑えるなどの取組みの結果、ほぼ目標が達成されたと報告されました。市民の御協力に感謝しますとともに、今後も、省エネを継続し、再生可能・自然エネルギーへの転換を図っていきたいものです。

9月議会の一般質問では、3名の議員が「いじめ問題」を取り上げました。大津市立中学校で、いじめが原因で生徒が自殺されたと思われることから、当市における現状と対策を問うたもので、「当市では、報告すべきいじめはない。いじめにあって悩んでいる人は、こころのまどで相談を」との答弁がありました。いじめは、誰でも、どこでも起りうることから、一人で悩まず、相談してみようではありませんか。

議会情報化等特別委員会

委員長 嶋田茂雄 副委員長 河原末彦  
委員 松原 護、長林三代、坂根栄六、松本 隆、谷口喜弘

## 行政視察報告会のお知らせ

各常任委員会がそれぞれ実施した行政視察の成果を報告します。

ぜひ傍聴にお越しください。

- 日時 平成24年12月25日(火)  
本会議終了後
- 場所 宮津市役所 議場
- 内容 総務文教委員会、産業建設福祉委員会の視察報告